

令和4年(2022年)

4月30日

第 776号

発行

学校法人文京学院

http://bgu.ac.jp



〈本郷キャンパス〉

学校法人文京学院

文京学院大学外国語学部・経営学部・

人間学部・保健医療技術学部・大学院

／文京学院大学生涯学習センター

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1

☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816

文京学院大学文京幼稚園

〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1

☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉

文京学院大学人間学部・保健医療技術学部

／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市久保1196

☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉

文京学院大学女子高等学校／文京学院

大学女子中学校

〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3

☎03-3946-5301

大学

「令和4年度入学式」挙行

Entrance ceremony

4月2日に、「令和4年度文京学院大学・大学院入学式」が、3年ぶりに東京ドームシティホールにて執り行われました。参加者は新入生のみに限定し、午前の部/午後の部の2部制で、密を避け安全に行われました。また、来場できないご家族・関係者の方に向けてはライブ配信を行い、当日は本郷キャンパス仁愛ホールをご家族・関係者の方の会場とし、ライブ配信でご覧いただける環境も用意されました。



午前の部では、人間学部、人間学研究科、保健医療技術学部、保健医療科学研究科、看護学研究科の入学式が、午後の部では、外国語学部、外国語学研究科、経営学部、経営学研究科の入学式が挙行されました。

午前/午後ともに、国歌・校歌を静聴し、櫻井隆学長が建学の精神である「自立と共生」や、学生に配布された會津八一の「学規」について説き、「大学として最大限の支援をしますので、絶対に卒業するという強い意志を持って勉学に励んでください」と、式辞を述べました。また、来賓祝辞では午前の部に駐日カンボジア王国特命全権大使TUY RY閣下が、午後の部に駐日インドネシア共和国Tri Purnajaya副大使が、英語でお祝い

の言葉を贈られました。

来賓・代表教員紹介後、在学生代表の庵袋晴輝さん(人間学部4年 午前の部)と佐藤颯馬さん(経営学部3年 午後の部)が歓迎の言葉を述べ、新入生が「My Statement」として、本学で成し遂げたい夢や目標を表明しました。

続いて、2024年開催予定のパリオリンピックで新競技として注目が集まる「ブレイキン」競技において、現在選手として世界的に活躍する河合来夢さん(人間学部3年)が、歓迎のパフォーマンスを披露。Muscle Projectやダンス部からのお祝い動画も披露され、和やかな雰囲気の中、入学式は閉会しました。

PHOTO GALLERY 入学式 フォトギャラリー



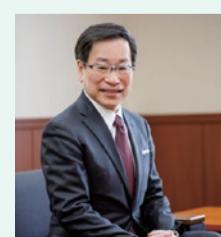
法人名称変更ご挨拶



島田憲子名誉学園長

春四月、ようやく対面で入学式を挙行し、生徒、学生の代表の方々の意欲溢れる決意を拝聴し、とてもうれしく、「自立と共生」と各自の目標を目指して頑張ってほしいと願いました。学校法人でも一層の飛躍をめざして、法人名を「文京学院」と変更し、この度名誉学園長に就任いたしました。

私立の学校にとって建学の精神はもっとも大切なものです。本学院の場合、創立者が定めた「自立と共生」を、園児、生徒、学生の皆さんに伝えるのが私の役割です。幸い元気ですので頑張りたいと思います。



島田昌和学園長・理事長

島田憲子学園長の後を引き継ぎ、学園長に就任しました。大学の初代学長であり、学園の精神的支柱であった憲子先生のお役目をすぐに果たせるものではありませんが、誠心誠意、最大限の努力をして務めさせていただく所存です。

教育現場の第一線に身を置く事が好きで、そこでのみ聞くこと、感じができる生の声こそが本当に必要な教育は何なのかを教えてくれました。理事長職になってからの7年間も、経営学部や人間学部で教鞭を執っています。これは学園長職が加わった後も継続させていただきます。

ただ、これから望まれる教育のヒントを足下から探し続ける所存です。伝統を守る大事さを根底に据え、次世代の担い手となる新しい人材の育成に果敢に邁進して参ります。

中高 「令和4年度入学式」挙行

4月6日に「令和4年度文京学院大学女子中学校・高等学校入学式」が本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。



【中学校】

中学校の入学式が松本卓哉中学校教頭の司会により挙行されました。今年度より中学校・高等学校の校長となった清水直樹校長式辞、島田昌和学年長・理事長の祝辞に続き、教育提携を結ぶアオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)光ヶ丘キャンパス校長ポール・フラーダー先生が生命観を交えた新入生への思いを述べて、祝福されました。後援会「ふじ会」の安藤慎二会長代行、同窓会「鏡友会」の高島宏子会長の祝辞に続き、来賓が紹介されました。在校生代表の青木裕紀子生徒会長(3菊)が「歓迎の言葉」、新入生代表の宗雲凜音さん(1菊)が「誓いの言葉」を述べました。

〈校長式辞（一部抜粋）〉

10年後には、今当たり前だと思っていることが多く消えてなくなっているかもしれません。20年後には、今は考えもつかないようなことが、当たり前になっているかもしれません。その中で、社会人となり、経験を積み、社会の中心として活躍している自分の姿を想像してみてください。本日、中学生となった皆さんには、これまで誰も経験したことのない新しい社会の中で、たくましく、しなやかに生きていくための力を、この文京学院で身につけてほしいと考えています。

【高等学校】

高等学校の入学式が神保高等学校教頭の司会により挙行されました。開式後、国歌・校歌が流れ、清水直樹校長式辞、島田昌和学年長・理事長の祝辞に続き、アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)文京キャンパス校長代理のケート・ローク先生が新入生へ祝福の挨拶をされました。安藤慎二後援会「ふじ会」会長代行の祝辞、そして来賓紹介後、在校生代表の日高花音生徒会長(3桜)が「歓迎の言葉」、新入生代表の嶋田弥奈さん(1藤)が「誓いの言葉」を述べました。

〈校長式辞（一部抜粋）〉

3年間の高校生活が今日から始まります。人生100年時代のわずか3年ですが、とても大切な3年間です。では、人生において高校時代のものつ意味とはいったい何なのか。それは「自分が何者なのか」そして「自分はどこへ行くのか」を明確にしていくとても重要な時間であると考えます。高校を卒業した後の次のステージをどこにするのか、何を専門として学ぶのか、そしてどうやって社会に出るのか、どのような人生を送りたいのか、一生懸命に考え抜く3年間であってほしいと思います。



中学校・高等学校入学式 AJIS光ヶ丘キャンパス ポール校長 AJIS文京キャンパス ケート校長代理

中学校入学式 高等学校新入生代表生徒

幼稚園

「令和4年度入園式」挙行



文京幼稚園

ふじみ野幼稚園



ふじみ野幼稚園に新入園されたみなさん、そして保護者のみなさま、誠におめでとうございます。

この幼稚園には、たのしいこと、やってみようと思うことがたくさん待っています。たくさんのおそびを友だちや先生たちと一緒に取り組むと、もっとやってみようと思うたり、こうするといいんだと思ったらして、新しいあそびや工夫の仕方などをたくさん知ることができます。

この幼稚園は、ワクワクみんなと一緒にあそんで、たくさんのことを経験できるところです。ときどき、あそんでいるときにうまくいかないことが続いて、イヤになってしまふかもしれません。そんなときは、先生たちが一緒にいてくれますし、年長・年中クラスのみんなと一緒にいて、手伝ってくれたり応援してくれたりします。みんなが毎日登園して、たのしくしていると、みんながたのしくなりますし、うれしい気持ちがいっぱいになります。ふじみ野幼稚園に毎日、元気に通ってきてください。

これまでの3年間、お子さん方が心も体も大きく成長できるよう、私達教職員は心を込めて保育をしてまいります。

コース制で学び 多種多様な道へ

コロナ禍の厳しい状況で、自身の将来を模索し、誠実に勉学に取り組んで、多くの成果を残した卒業生の進路を紹介します。なお、併設大学には外国語学部7名、経営学部7名、人間学部9名、保健医療技術学部12名の合計35名が進学しました。2022年合格先一覧は次のようにあります。(既卒者含む)

卒業生数210名、既卒者数7名、大学進学者数172名、短大進学者数4名、専門学校進学者数13名

国際教養コース A class

大学名	学部／学群	学科／学類	大学名	学部／学群	学科／学類
青山学院	地球社会共生	地球社会共生	淑徳	人文	表現
法	法律	法律	順天堂	医療看護	看護
成蹊	文	現代社会	昭和女子	食健康科	食安全マネジメント
経営		総合経営	国際	国際	
成城	文芸	ヨーロッパ文化	女子栄養	栄養	実践栄養
東洋	国際観光	国際観光	白百合女子	人間統合	初等教育
文			彩野服飾	服飾	服飾
垂穂	国際関係	国際化コミュニケーション	聖心女子	現代教養	
跡見学園女子	マネジメント	マネジメント	聖徳	人間栄養	人間栄養
			帝京	医療技術	看護
			帝京科学	看護	
桜美林	芸術文化	ビュアル・アーツ	東京医療保健	東が丘看護	看護
大妻女子	社会情報	社会情報	東京家政	家政	環境教育
家政	被服	被服	東京都市	人間科	児童
文	英語	英語	東京医療専門	リハビリテーション	作業療法
共立女子	家政	児童	獨協	法	法律
			日本体育	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント
			文化学園	服装	ファッショングイズム
神田外語	国際	国際	聖母	国際文化	国際ファッショングイズム
京都芸術	芸術	空間演出デザイン	武蔵野	人間科	人間科
京都美術工芸	芸術	美術工芸	自白	人間	人間福祉
杏林	外国語	英語	立正	文	文
	総合政策	企業経営			
恵泉女学園	人文	日本語日本文化	立命館アジア太平洋	アジア太平洋	アジア太平洋
実践女子	文	英語	和洋女子	看護	看護
	人間社会				

理数キャリアコース A class

大学名	学部／学群	学科／学類	大学名	学部／学群	学科／学類
東京都立	健康福祉	作業療法	東京医療保健	千葉看護	看護
学習院女子	国際文化交流	日本文化	東京工科	医療保健	臨床検査
工学院	情報	情報デザイン	東京都市	理工	自然科
順天堂	医療看護	看護	東京農業	農	農
昭和女子	環境デザイン	環境デザイン	東邦	理	物理
聖徳	看護	看護	東洋学園	人間科	人間科
大正	社会共生	社会福祉	武蔵野	工	建築デザイン
五川	農	環境農	明海	保健医療	口腔保健
千葉科学	薬	薬			

理数キャリアコース T class

大学名	学部／学群	学科／学類	大学名	学部／学群	学科／学類
学院	国際社会科	国際社会科	湘南工科	工	情報工
法政	生命科	応用植物科	昭和	保健医療	看護
明治	農	生命科	千葉工業	工	応用化
			千葉歯科	国際教養	国際教養
日本女子	理	化学生命科	帝京	医療技術	診療放射線
	文	数物情報科	平成	ヒューマンケア	柔道整復
家政	被服	被服	東京家政	家庭	環境教育
國學院	観光まちづくり	観光まちづくり	東京工科	メディア	メディア
成蹊	理工	理工	東京女子医大	工	工
東洋	情報連携	情報連携	東京電機	未来科	情報メディア
	工		東京農業	国際食料情報	国際農業開発
			東邦	生物	分子生命化
日本	文理	英文	東京薬科	生命科	応用生命科
			東邦	薬	薬
北里	海洋生命科	海洋生命科	駒澤女子	人間科	人間
駒澤女子	人間総合	心理	芝浦工業	データサイエンス	データサイエンス
芝浦工業	システム理工	生命	順天堂	保健医療	診療放射線
順天堂	保健医療				

スポーツ科学コース

大学名	学部／学群	学科／学類	大学名	学部／学群	学科／学類
青山学院	文	比較芸術	十文字学園女子	人間生活	健康栄養
立教	文	文・日本文学	聖心女子	現代教養	
國學院	経済	経済	五川	農	生産農・理科教員養成
成蹊	法	法律	帝京	文	心理
日本	法	法律	東海	体育	競技スポーツ
桜美林	健康福祉	健康科学	東京保健医療専門	リハビリテーション	理学療法
嘉悦	経営経済	経営経済	獨協	法	法律
國子館	文	教育・教育学	山梨学院	スポーツ科	スポーツ科

国際教養コース S class

大学名	学部／学群	学科／学類	大学名	学部／学群	学科／学類
杏林	外国语	英語	清泉女子	文	中国語
		観光文化	聖徳	心理・福祉	心理
			大東文化	外国语	英語
			帝京	文	社会
			獨協	外国语	英語
			フェリス女子院	文	国際関係
			文教	人間科	臨床心理
			目白	外国语	英米語
			立正	メディア	メディア
			和洋女子	人文</td	

大学

SDGs 教材シリーズ 「世界の子ども権利かるた」制作・監修

外国语学部の甲斐田万智子教授が監修し、同学部3年生（当時）6名が認定NPO法人国際子ども権利センターのインターン時に制作した、SDGs教材シリーズ“「世界の子ども権利かるた」—みんなで知ろう！わたしたちのチヤイルドライツー”が、3月11日に合同出版より全国書店で発売されました。

同かるたは、川崎市にある「子ども夢パーク内 フリースペースえん」の子どもたちから意見を聞いたり、「子どもの権利条約フォーラム2021 inかわさき」でワークショップを実施したり、何度もチームで推敲を重ねて完成させました。制作に携わった学生は、日本で暮らす子どもたちへ自分の権利のことと、世界の子どもの権利について伝えたいメッセージをかるたに込めました。学生と、監修した甲斐田教授より次のコメントが寄せられました。

学生コメント

かるたの読み札作成にあたり、子どもたちの視点で考えるということをおきました。私たちは、子どもの気持ちを知り、一緒に言葉を考え、かるたのメッセージについての意見を聞きました。様々な人に支えられた結果、みんなの想いが詰まつたかるたが完成しました。この経験を通じて、子どもたちが抱えている問題は小さく思えるものでも見逃してはいけないこと、子どもの声に耳を傾け、共に変化していくなければならないということを学びました。

甲斐田教授コメント

どの子どももつらいとき、嫌な思いをしたときに1人で悩まずに「助けて」「ノー」と言えることを、子どもの権利かるたを通じて知ってほしいという願いをこめて作りました。学生たちは、子どもたちの声を聴きながら、悩みながら、思いをこめて読み札を作っていました。学んだことを社会に出てからも活かしてくれると思います。



販売されている「世界の子ども権利かるた」

「世界のこども権利かるた」について(敬称略)

監修者 甲斐田万智子
制作 石川琳、岡田早悠里、栗原麻衣、鈴木裕奈、山地茉佑奈、渡部咲(本学外国语学部生)
イラスト 水乃みのる
定価 3,400円(税抜)
発行 合同出版株式会社

大学 書籍発行イベントに 外国语学部新井保裕准教授が登壇

2月26日、外国语学部の新井保裕准教授が、東洋大学の三宅和子名誉教授とともに編著した書籍『モビリティことばをめぐる挑戦:社会言語学の新たな「移動」』(ひつじ書房)刊行記念オンライン・シンポジウムに登壇しました。

新井准教授は「中国朝鮮族のことばの研究:『モビリティ』が照らす社会言語学に必要な学際性」について講演。「本書籍、シンポジウムを通じて、社会言語学の研究の広さ、研究方法、研究視点の多様さを感じることができます。そしてコミュニケーション研究や実践においては、このような研究対象、方法、視点を横断する学際性が重要であることを少しでもお伝えできたら幸いです」と、参加者にメッセージを贈りました。



新井准教授

大学 東京都人権啓発センター主催シンポジウムに 外国语学部甲斐田万智子教授が登壇

3月5日にオンラインにて開催された“第2回シンポジウム「ポストコロナ時代の人権教育・人権啓発とは」—社会を担う「子ども・若者」の人権—”(主催:公益財団法人東京都人権啓発センター 後援:東京都、東京法務局、東京人権啓発企業連絡会)に、外国语学部の甲斐田万智子教授が登壇しました。

今回は、国連「人権教育世界プログラム」第4段階(2020年-2024年)のターゲットが「若者」であることを念頭に置き、「子ども・若者」にテーマを絞り、今後の人権教育や人権啓発の指針を探りました。甲斐田教授は、子ども・若者が権利を知ることによりエンパワーされ、よりよい社会づくりの担い手になりうることについて講演しました。5月連休明けに、このシンポジウムの動画配信が開始されます。



甲斐田教授

大学 「第7回 文京映画祭」にて学生制作映画が上映

3月13日に開催された文京区民による手作りの映画祭「第7回 文京映画祭」(主催:文京映画祭実行委員会)にて、人間学部3年生(当時)11名が授業の一環として制作した作品「ねこっちゃんビデオ通信～文京Deepな人～2021年度版」が上映されました。本映画祭は、新型コロナウイルスの影響を受け、昨年に引き続き第1回から場所のご提供を頂いている文化シヤッター株式会社(文京区西片)本社内にあるBXホールを3Dスキャンしバーチャル化した会場で行われました。

学生はコロナ禍の中で感染予防のために様々な工夫を凝らして企画・撮影・動画編集を行い、同映画祭への出展を目指す活動を行ってきました。2021年度は、学生が根津、向丘、千駄木、白山(+本郷、弥生、西片)地区の人々と関わり、地区の今と歴史を知り、さらに地域の実情に詳しい人に語ってもらう映像コンテンツ4作品と総集編を制作。当日は30分にまとめた総集編が上映されました。

今回上映した総集編の基となった4作品や、過去の制作動画は大学公式YouTubeでご覧いただけます。
【制作動画一覧】
<https://www.youtube.com/playlist?list=PL-YEFtQlIVHDovvezC-VmP-Zp6oXkpAd7>



上映作品の一場面

大学 フランスの高校生と オンライン交流会を実施

3月14日・15日、フランス・アルザス地方のアルザス高校と、新潟県長岡市の高校、(公財)長岡市国際交流協会が企画した、第三言語で日本語を学ぶオンライン日本語交流会に本学学生が参加しました。当日は、アルザス高校の3年生・2年生の合計42名、長岡市の高校生・大学生32名、本学の外国语学部、人間学部、保健医療技術学部の学生12名が参加。プログラムでは、フランスの学生が「ファッショントピック」をテーマに日本語でプレゼンを実施し、その内容を受けて、お互いのファッショントピックへの理解を深めるディスカッションを行いました。参加した本学学生3名から次のコメントが寄せられました。

諸星亜佑美さん(外国语学部2年 当時)

今回の交流会で改めて会話の楽しさと積極性の重要さを感じました。興味のあることへ積極的に参加することが自分の未来を切り開く第一歩だと思いました。

慶田元裕佳さん(外国语学部2年 当時)

アルザス高校の皆さんと日本語で交流できたことは、母国語で会話できたことの嬉しさだけではなく、自分自身の外国语学習への意欲向上のきっかけになりました。

大輪美貴さん(人間学部1年 当時)

緊張しましたが、アルザス高校の皆さんとファッショントピックや、好きなアニメの話をでき、とても楽しかったです。また参加したいです。

新しい先生方の紹介

新年度から、園児・生徒・学生・院生たちの教育を担う新しい先生方を紹介します。

【外国语学部】

仲田知弘准教授

【経営学部】

Rocha Feijo, Flavia助教

【人間学部】

朴淳香教授・篠原純史准教授・高橋明美准教授

【保健医療技術学部】

大井千鶴准教授・福田誠准教授・小室成義助手

【教職課程センター】

加藤竜吾特任教授

【中学校・高等学校】

相馬良史教諭

【文京幼稚園】

佐野まりな教諭・新保瞳教諭

【ふじみ野幼稚園】

植草佳子教諭

ひたむき・まえむき・おもむき
tomoちゃん

第81回

画:美術部(高校)T.S

